

## 弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	間質性肺炎合併肺癌の術後間質性肺炎急性増悪におけるイメージングバイオマーカーの確立		
2. 対象患者	2010年1月1日から2016年9月30日に間質性肺炎を伴った状態で肺癌の手術前にCTを撮影された方が対象になります。		
3. 対象となる期間	平成 22年 1月 1日 ~ 平成 28年 9月 30日		
4. 実施診療科等	放射線科		
5. 研究責任者	氏名	小野修一	所属 医学研究科
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	<p>参加予定施設: 26施設                      名古屋市立大学(小澤良之)(研究統括責任医師: 芝本雄太)                      弘前大学(小野修一)、北海道大学(工藤興亮)、東北大学(富永循哉)                      山形大学(根本健二)、福島県立医科大学(伊藤 浩)                      秋田大学(石山公一)、帝京大学(大場 洋)、山梨大学(本杉宇太郎)                      がん研究会有明病院(負門克典)、埼玉医科大学(小澤栄人)                      東邦大学医療センター佐倉病院(寺田一志)、亀田総合病院(大内恵理)                      聖マリアンナ医科大学(中島康雄)、群馬大学(対馬義人)                      新潟大学(吉村宣彦)、藤田保健衛生大学(外山 宏)                      愛知医科大学(石口恒男)、岐阜大学(松尾政之)、浜松医科大学(阪原晴海)                      大阪医科大学(鳴海善文)、大分大学(森 宣)、琉球大学(村山貞之)                      佐賀大学(入江裕之)、鹿児島大学(吉浦 敬)、刈谷総合病院(北瀬正則)                      メディカルアドバイザー: 名古屋市立西部医療センター(原 真咲)                      統計解析アドバイザー: 名古屋市立大学(大佐賀智)                      研究事務局: 近土写真製版株式会社                      資金提供元: バイエル薬品株式会社</p>		
7. 研究の意義	<p>間質性肺炎が合併した肺癌の患者さんでは手術後間質性肺炎の急性増悪(術後30日以内)が8.3%~12.4%に認められると報告されています。さらに術後間質性肺炎の急性増悪症例ではそれによる死亡例もあり、重要な管理項目の一つです。術前CT画像における間質性肺炎の所見で術後間質性肺炎の増悪リスクおよび重症度を予測できれば、術後管理などに有用ですが、その画像的な予測因子は詳しく解明されていません。</p>		
8. 研究の目的	<p>間質性肺炎合併肺癌の患者さんの術前CT画像における間質性肺炎の評価を行うことで増悪リスクおよび重症度を予測する因子を特定、解明すること。</p>		
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合は方法等)	<p>DICOMデータ(画像情報)、症例報告書(患者様のカルテから疾患に関連する情報を収集します)</p>		
10. 個人情報の保護	<p>症例報告書は患者様の個人情報とは無関係の登録番号を付けて管理を行います。秘密保護に十分配慮いたします。研究結果を公表する際には、個人を特定できる情報を含まないようにいたします。</p>		
11. 利益相反に関する状況	<p>本研究に関してはバイエル薬品株式会社より「医師主導臨床研究に関する契約」に基づき資金提供を受けますが、本研究の実施および評価に影響を及ぼすことはありません。本研究は、資金源に関係なく公正に行われます。尚、利害の衝突に関しては当施設の利益相反マネジメント委員会において審査を受けております。</p>		
12. 連絡先	放射線診断学講座 准教授 小野修一		
	電話	0172-39-5103	FAX 0172-33-5627